保証書とアフターサービスについて

■保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。
必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■アフターサービスについて

- ●調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- ●保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ●保証期間が過ぎた場合は、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話受付	平日 9：00〜17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

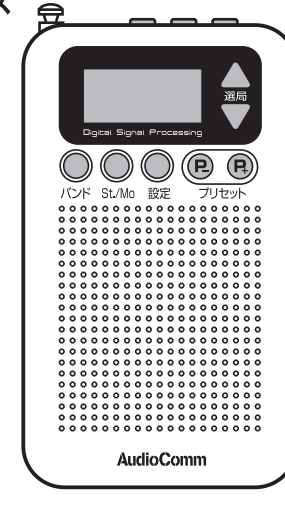
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9：00〜17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8184B

AudioComm®

DSP FMステレオ/AM ポケットラジオ

RAD-P350N シリーズ



取扱説明書

AudioComm
DSP FMステレオ/AMポケットラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

目 次

- 安全にお使いいただくために…P.1
- 故障かな?と思ったら…P.2
- ラジオ各部の名称…P.3
- 電池の入れ方…P.4
- 時刻設定とアラームについて…P.5
- ラジオの使い方…P.7
- プリセットメモリーの使い方…P.8
- 受信について…P.9
- ステレオイヤホン（付属）の使い方…P.9
- 便利な機能について…P.10
- ラジオ本体のお手入れの仕方…P.10
- 主な仕様…P.10
- 保証書とアフターサービスについて…裏表紙

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- ●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- ●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。
- ●車、バイクの運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

⚠ 注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- ●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- ●窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- ●イヤホン使用時、耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。
- ●電池は、プラス（＋）とマイナス（－）の表示通りに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- ●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池（例:アルカリとマンガン）を一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- ●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

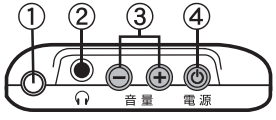
故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

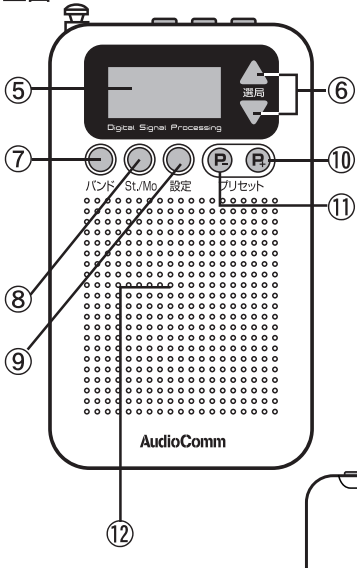
現　象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認 （残量がない場合は電池を交換）。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

ラジオ各部の名称

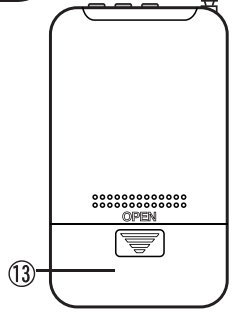
天面



正面

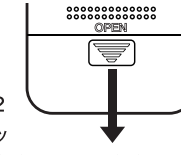


背面



① FMロッドアンテナ
② イヤホン端子
③ 音量(ー/+)ボタン
④ 電源/スリープボタン
⑤ 液晶画面
⑥ 選局(▲/▼)ボタン
⑦ バンド/アラームボタン
⑧ FMステレオ⇔モノラル/ロックボタン
⑨ 設定/スキャンボタン
⑩ メモリー(+)ボタン
⑪ メモリー(ー)ボタン
⑫ スピーカー
⑬ 電池ボックスカバー

電池の入れ方



❶ 本体背面の電池ボックスカバーの矢印部分を押しながら下にスライドさせます(右図参照)。

❷ 電池ボックスに、単4形乾電池2本(別売)を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス(+)、マイナス(ー)の極性通りに正しく入れてください。(コイルバネがあるほうが(ー)側です。(ー)側から先に装着してください)

❸ 電池ボックスカバーを❶と逆の手順で閉めると、装着完了です。

※電池交換は手早く行ってください。電池を外した状態が約10秒以上続くと、設定していた時計、アラーム、放送局メモリーがリセットされます。
その場合は再度設定し直してください。
※本機はアルカリ乾電池の使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

電源についてのご注意
初めてご使用になる場合、乾電池を装着してから可動状態になるまで約5〜6秒ほど要することがあります。
可動状態になると液晶画面の表示が現れます。
その後各操作を行ってください。(可動状態になるまで液晶画面には何も表示されませんが故障ではありません。)

時刻設定とアラームについて

■時刻の設定

❶電源・オフ時に「設定/スキャンボタン」を押します。液晶画面に「12(または24)Hr」表示が点滅します。
「選局(▲/▼)ボタン」上下で、12⇔24時間表示を選択、「設定/スキャンボタン」を押して決定します(12時間表示の場合、液晶画面表示は、午前は表示無し、午後は「PM」と表示されます)。

❷次に「時」が点滅、「選局(▲/▼)ボタン」の上下で「時」を選択し、「設定/スキャンボタンを押して決定します。

「時」点滅

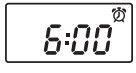
❸次に「分」が点滅、「時」と同じ手順で「分」を決定します。

「分」点滅

■アラームの使い方

❶電源・オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面に「 ⏰ 」が表示(点灯)されます。

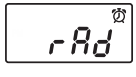
アラームアイコン点灯



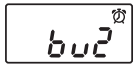
❷「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面の「 ⏰ 」と「時」 表示が点滅します。
「時刻の設定・項目❷～❸」の手順でアラーム時刻を設定します。

❸次に「rAd(ラジオ)」または「buZ(ブザー)」表示が点灯、「選局(▲/▼)ボタン」の上下で2種類のアラームから選択し、「設定/スキャンボタン」を押して決定します。ラジオを選択する場合は「ラジオの使い方(P.7)」の手順であらかじめ任意の放送局を選択し、任意の音量に設定をしておいてください(なお、ブザーの場合の音量は音量の設定にかかわらず一定です)。

ラジオアラーム点灯



ブザーアラーム点灯

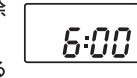


❹設定時刻にアラームが鳴ります。
アラームを切るときは「電源/スリープボタン」を押します(アラーム設定は保存されます)。

アラームを切った後も
アラームアイコン点灯

❺アラーム設定を解除するには、電源・オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面の「 ⏰ 」が消灯して設定解除です。

アラーム設定解除で
アラームアイコン消灯



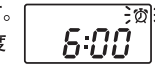
※アラーム音としてブザーを選択している場合は、電源オンの状態でもアラームが作動します(ブザー音に切り換わります)。

※通常使用の際は、必ずアラームを解除してお使いください。

■スヌーズの使い方

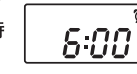
❶アラームを切るときに「バンド/アラームボタン」を押すと「スヌーズ」となります。アラームが一旦停止後約10分で再度アラームが作動します。

スヌーズ中は
アラームアイコン点滅



❷スヌーズを解除するには「電源/スリープボタン」を押します(アラーム設定は保持されたままです)。

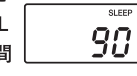
スヌーズ解除で
アラームアイコン点灯



■スリープタイマーの使い方

❶電源オフ時に「電源/スリープボタン」を約3秒長押しすると、液晶画面に「SLEEP 90」が表示されます(スリープ時間90分)。

SLEEP表示

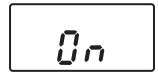


❷続けて同ボタンを押すごとに80～10分まで10分刻みで設定が可能です。
設定完了後すぐに電源が入り、設定時間が経つと電源が切れます。おやすみタイマーとして便利です。

ラジオの使い方

❶「電源/スリープボタン」を押すと電源が入ります。
液晶画面が時刻表示→「On」表示→周波数表示になります。

電源ON表示

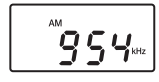


❷「音量(−/+)ボタン」の(−)または(+)を押して、音量を調節します。

音量表示（VOL.00〜38）

❸「バンド/アラームボタン」を押すごとに、AM⇔FMステレオに切り替わりますので、お聴きになるバンドを選択します。

AM表示



❹「選局(▲/▼)ボタン」の(▲)または(▼)を押して、お聴きになる放送局に合わせます。なお同ボタンの(▲)または(▼)を約2秒長押しすると、自動選局となり、電波の強い放送局を自動検知して止まります。
※AMは9kHz、FMは0.1MHzステップで周波数が増減します。

FMステレオ表示

❺電源を切るときは、「電源/スリープボタン」を押します。
液晶画面が「OFF」表示→時刻表示になります。

電源OFF表示

※本機はFM周波数帯域が76〜108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。
FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1〜94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

プリセットメモリーの使い方

■手動で選局して保存する場合

❶「ラジオの使い方・項目❶〜❹」までの手順で選局します。
❷「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面にプリセット登録番号が約3秒点滅します。
点滅中に「メモリー(+)ボタン」と「メモリー(−)ボタン」を使用して、設定する任意のプリセット登録番号(0〜19まで)を点滅させます。

プリセット登録番号点滅

❸再度「設定/スキャンボタン」を押すと、設定したプリセット登録番号で保存完了です。
❹同じ手順でAM/FM各20局までメモリー保存可能です。

■自動で選局・保存する場合(ATS)

❶「ラジオの使い方・項目❶〜❸」までの手順でAMかFMを選択します。
❷「設定/スキャンボタン」を約5秒長押しすると、ATSが作動して受信感度のいい放送局を自動で選局・保存します(AM/FM各20局まで)。

SCAN点滅

※ATS(オートチューニングストレージ)を使用してプリセット登録すると、以前のプリセットメモリーは上書き消去されますのでご注意ください。

■プリセット登録した局の聴き方

❶「ラジオの使い方・項目❶〜❸」までの手順でAMかFMを選択します。
❷メモリー(+)ボタンとメモリー(−)ボタンを使用して、液晶画面に表示されるプリセット登録番号より、お聴きになる番号(局)を選んでお聴きください。

プリセット登録番号を選ぶ

受信について

■AM放送を聞くとき

AMアンテナは本機に内蔵されています。本機の向きを変えて最もよく聞こえるように調節してください。

■FM放送を聞くとき

FMロッドアンテナを伸ばして、一番良く受信できる方角に向けてください。また、本機はFMステレオ⇔モノラル切換機能付です。FM放送受信中に「FMステレオ⇔モノラル/ロックボタン」を押すごとに、FMステレオ⇔モノラルに切り換えますので、電波が弱い時は、聴き取りやすいモノラル受信に切り換えてご使用ください。

■電車や建物の中で聞くときは

電波状態が悪い所では受信できないことがあります。
本体をできるだけ窓に近づけてお使いください。

■音声について

●AMはモノラル音声、FMはステレオ音声（モノラル切換機能付）です。
●本機はTV放送の音声は受信できません。

ステレオイヤホン（付属）の使い方

本体スピーカーはモノラル再生です。FMをステレオで聴くには、ステレオイヤホン（付属）をご使用ください。
ご使用方法は以下の通りです。

❶「ラジオの使い方・項目❷」の段階で「音量（－/＋）ボタン」の（－）を押して、音量を最小（VOL.00）にします。
❷イヤホンのプラグを「イヤホン端子」に差し込みます。
❸イヤホンの（R）表示側を右耳に、（L）表示側を左耳にしっかり装着します。
❹「ラジオの使い方・項目❷」以降の手順でラジオをお聴きください（イヤホン使用時はスピーカーから音は出ません）。

※プラグをイヤホン端子から抜く際は、プラグ部分を持って抜いてください（断線のおそれがあるのでコードを持って抜かないでください）。
※AM受信、FMモノラル受信時はイヤホンのR、Lは同じ音声になります。

便利な機能について

■液晶バックライト

各ボタンを押すごとに液晶が約5～7秒点灯します（電源オフの状態でも機能します）。暗い場所などで便利です。

■誤作動防止ロック機能

「FMステレオ⇔モノラル/ロックボタン」を約3秒長押しすると、すべての操作がロックされ誤作動を防止します。 再度、約3秒長押しするとロックが解除されます。

ラジオ本体のお手入れの仕方

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。
シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

主な仕様

受信周波数	AM 522-1620kHz FM 76-108MHz
電　　源	DC3V 単4形乾電池×2本（別売）
電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信 約30時間、FM受信 約26時間 イヤホン使用時 AM受信 約34時間、FM受信 約30時間 （アルカリ乾電池新品使用、音量中程度として）
外形寸法	幅60×高さ103×奥行15mm（突起物含まず）
質　　量	約65g（乾電池含まず）
付属品	ステレオイヤホン、取扱説明書、保証書

※外観、仕様は予告なく変更する事があります。